第40号
2018/09

PVかながわ ニュースレター

News

食とエネルギーの未来を創る ソーラーシェアリング

ソーラーシェアリングは別名「営農型太陽光発電」、耕作をする農地の上に太陽光パネルを設置して、農業と発電事業を同時に行う取り組みです。地面にパネルを敷き詰める従来のメガソーラーとは違い、パネルの下の土地で作物を作るのです。作物が順調に育つか心配される方もいるでしょうが、ある程度の間隔で設置された太陽光パネルの下には作物の育成に必要な光は十分降り注ぎます。

日本の一次エネルギー自給率は 8.3%（H28 年）です。PV-net 会員の皆さんは太陽光発電など持続可能なエネルギーをもっと増やしたいと考えているでしょう。一方、食料自給率はカロリーベース 38%（H29 年度）で、これも増やさなくてはなりません。しかし農業従事者は高齢化が進み、離農者は年々増加しています。多くの農家の経営は苦しく、天候などに左右されて収入が不安定なこともあり、後継者不足は深刻な問題です。農家がソーラーシェアリングの発電事業をすることで固定的な収入が見込めます。また今後、ハウス栽培や農機具で必要なエネルギーを太陽光発電で賄うなどの新しい展開が考えられます。

さがみはら地球温暖化対策協議会会員視察
小田原市かなごてファームのソーラーシェアリング
（茶畑・さつまいも畑・水田）2018年7月

水田では神奈川県初の取り組み
太陽光パネルは一般住宅用を使用

茶畑ではパネルの間隔がかなり狭い

食とエネルギーの未来を創るソーラーシェアリングは全国に広がりを見せています。昨年千葉県匝瑳市のメガソーラーシェアリングの落成式に小泉、菅、細川元首相がそろって出席したとのニュースがありました。私たちは相模原市にまずは小さなものでも実現させたいと、勉強会をしたり農家の方に働きかけたりしています。近隣にお住まいでソーラーシェアリングに関心をお持ちの方は北村までご連絡ください。 連絡先：pvsagamihara@yahoo.co.jp

（PV-Net PV さがみはら　北村　記）

世話人から

連絡事項

会員のページが不調のようです、ご不便お掛けします。発電量は本誌でチェックしてください。

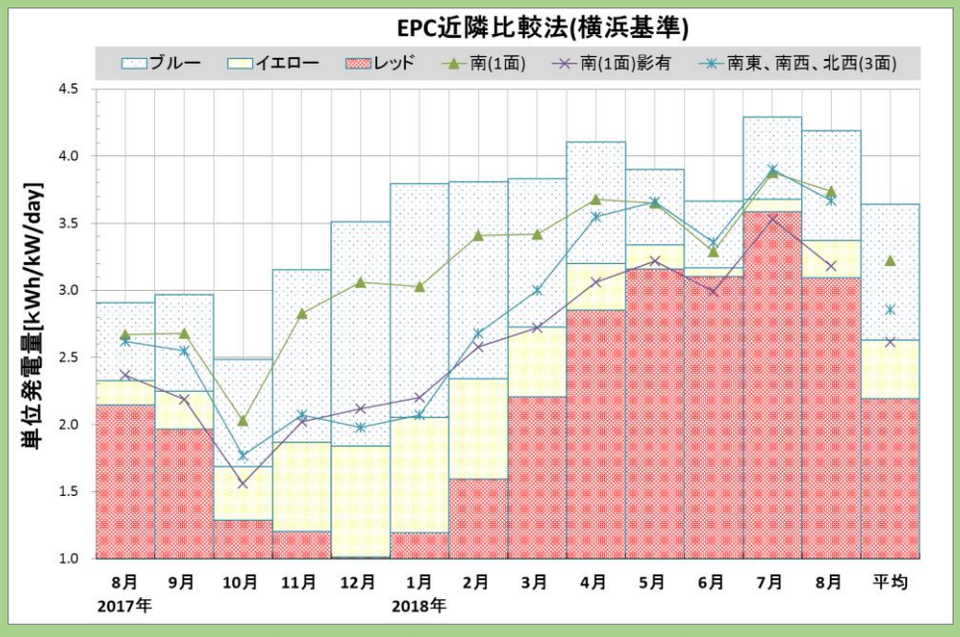
今後の予定

2018年9月16日（日）
ワークショップ第24回
「出前発電所をつくろう！」
会場：「かるがも」(星川駅)
時間：13:40～16:30

2018年9月26日（水）
「金融、経済と持続可能な社会の在り方について」
城南信用金庫　吉原毅氏
会場：相模原市立環境情報センター
時間：15:00～17:00
問合：pvsagamihara@yahoo.co.jp

2018年11月10日（土）
星川・まなぶん祭り2018
会場：ほどがや市民活動センター
時間：10:00～15:00
（雨天順延　11日）

今月の単位発電量！



昨年の夏らしくない8月に比べ猛暑になりしました。気象庁によると8月は、「東・西日本は、上・下旬を中心に晴れて気温が顕著に上昇した日が多かったため、月平均気温がかなり高く、月の前半は東海地方で日最高気温が40℃を上回る地点もあり、岐阜県美濃では40℃以上の日が3日間に及んだ。月の後半は、南からの湿った気流により大気の状態が非常に不安定になり局地的な大雨の発生する日があった。なお、台風が9 個発生してひと月の発生数としては1994 年8 月以来24 年ぶりの多さとなり、特に12～16 日は1951 年の統計開始以来初めて5 日間連続で台風が発生した。」

単位発電量とは、1kWあたり、1日あたりの平均発電量です。毎月の発電量[kWh]を設備容量[kW]と日数で割ってください。平均は直近12か月の単位発電量です。一般的に単位発電量は、ブルーの範囲になることが期待されます。北西など、やや北向きがある発電所はイエローになることもありますが、レッドが続く場合は、メーカなどに相談することをお勧めします。